

【発行者】
長田会計事務所
大阪市中央区徳井町2-2-9-701
TEL 06-6944-2111
FAX 06-6944-2110
Mail nagata@office-smile.jp
HP http://office-smile.jp/

【編集部】
編集長 遠藤 悦代
部員 木下 心路
発行責任者 長田 雅子

【TOPICS】

- ◇ご挨拶、リニューアルのお知らせ、お仕事備忘録
- ◇2018年 長田会計事務所7大ニュース！
- ◇書初めと2019年の抱負
- ◇長田会計事務所の〇〇なコト
- ◇編集後記

ご挨拶

2018年も残すところわずかとなりました
本年も大変お世話になり、ありがとうございました

皆様の2018年はいかがでしたでしょうか。大阪では6月に地震、9月に台風と天災が続き、自然の力に驚きました。また、11月には2025年の大阪万博開催が決まり、今後の大阪経済が盛り上がる機運が高まる喜ばしいこともありました。

長田会計事務所の2018年は、今月号の記事にもあります通り様々なできごとがありました。戌年は「地盤を守る」を意味する年でした。人の入れ替わりもありましたが、経営指針の実践や改善活動が活発になったり、業務においてはそれぞれの成長も見られ、互いの信頼が深まる年となりました。

2019年は元号が変わり消費税も10月に10%になるなど、日本中に変化が起こります。また、祖父が事務所を設立して49年目となり、2020年は50年目という大切な年になります。これもひとえに皆様のご協力があったることと、深く感謝しております。

2019年もスタッフ一同力を合わせ、皆様の事業の発展をサポートしていきます。
来年もどうぞよろしく願いいたします。

長田会計事務所 所長 長田雅子



長田会計事務所通信リニューアルのお知らせ

いつも長田会計事務所通信をお読みいただきありがとうございます。
弊紙は2006年から12年に渡り、毎月発行してまいりました。早いもので、今号は151号となります。これも偏にお読み下さり、楽しみにしていると知らせてくださる皆様のおかげと、一同感謝しております。

更にお役に立ち、楽しんでいただけるものをと所内で話し合った結果、弊紙は2019年より季刊紙として生まれ変わり、春号、夏号、秋号、冬号として年4回お届けすることとなりました。

毎月楽しみにして下さっている方には大変申し訳ございません。

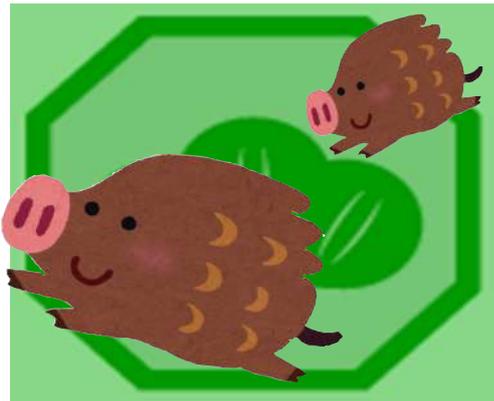
より充実する長田会計事務所通信を、これからもよろしく願いいたします。



仕事は始めが肝心です。取引先の仕事開始日を踏まえて、新年の挨拶回り等を滞りなく実施すると、気持ちよいスタートがきれるでしょう。

2019年1月 お仕事備忘録

1. 還付申告（所得税の確定申告）の受付開始
2. 固定資産税の償却資産に関する申告
3. 個人の県民税・市町村民税の納付（第4期分）
4. 給与所得者の扶養控除等申告書の回収と源泉徴収票の交付
5. 各種法定調書の提出
6. 働き方改革関連法の施行に向けた対応
7. 新元号への改元に関する対応





2018年 長田会計事務所7大ニュース!



2018年の印象深いできごとを、写真とともにご紹介

2月「インターンシップ2期生送り出し」

インターンシップ2期生の玉川君、野間口君、福本さん、小倉さんの送別会を行いました。みなさんとてもフレンドリーで優しい方が多く、仕事の上でもプライベートなお話をする上でも非常に頼りになりました。またいつかご縁があって再会できたらいいなと思います。



4月「お花見」

事務所の近くにある公園でお花見をしました。さくらが見ごろだったので自慢の一眼レフを持参し、皆で集合写真を撮りその後にお弁当を食べました。さくらの時期は人間も集まりますが、おこぼれをもらう為か鳥も多く集まっていました。来年のさくらの時期にもお花見したいなと思いました。



6月「インターン生加入～僕がインターン生として加わった理由～」

元々高校の頃から会計に興味があり将来もその道に進もうと思っていたのですが、インターンシップとして受け入れてもらえるところがなかなかなく、必死に探した時に唯一見つけたのがこの長田会計事務所でした。



7月「大江さん送別会」

まさかあんなタイミング悪く災害レベルの天候になるとは思っていなかったの、ある意味すごいなにかを持っている方なのかなと思いました。僕の伯母も旅行へ行くたびにになにか天候によるトラブルをほぼ毎回起こす超人なので、似たようなものを感じました。



10月「六甲山登山」

初登山だったのでロックガーデンが思った以上に険しいこと、山頂のラーメンが美味しいこと、登山後のお酒がよく回ること、全部が新鮮でした。所長の「普段は根づめて仕事をするから、こうして発散してんねん」という言葉も印象深い思い出になっています。



11月「社員旅行」

私自身、山口県と島根県に行くのがはじめてでした。鍾乳洞からふぐ料理、幕末の建造物などなど2日間味わい尽くしました！津和野でSLを見た所長のテンションの高さが印象的でした。



11月「棚にこけし事件」

掃除中、遠藤さんが「何あれっ」と指したほうを見てみると、そこには昨日無かったはずの「こけし」が小首を傾げて…。一同どよめきましたが、犯人はお父さんでした。手作りのこけしを頂いたのでせっかくならばと事務所に飾ってくださったそうです。なかなか迫力がありませんでした。





社員旅行に行ってきました！



事務所のスタッフと一緒に事務所旅行へ出かけました。
昨年から事務所旅行を行事としているのです。今年の行き先は、萩・津和野。



北海道、沖縄、長野などいろいろと候補が出ましたが、日程や時期も考えて、数回討論した後、スタッフ主導で決めてもらいました。目的地が決まれば、決めることも素早く、予算を決めるとあっという間に、役割分担して旅に必要なことが決まりました。昔みたいに“旅のしおり”は作らなかったのですが、ガイドブックに行きたい場所のページに付箋を貼って、事務所旅行が始まりました。



今回私が楽しみにしていたのは、自然と街並みです。カルスト台地が広がる秋吉台や神秘的な鍾乳洞がある秋芳洞の自然豊かさに心が癒されました。また、萩や津和野に残る歴史亭建造物や維新にかかわる人々の生家や学びの場所を見ると、今の日本を変えた人々の熱い志にすこし触れることができました。



そして、一番心が躍ったのは、津和野駅に常設されていたD51のSL自動車でした。昭和14年に製造され、昭和の終わりまで人々の交通を支える交通手段として働いていたそうです。黒光りし、どっしりしたD51。運転席にも上がることができ、ここに石炭があって、火が燃え上がっているこのタンクに投げ込み、汽車を動かしていたのだと想像するだけで興奮してしまいました。新山口から津和野まで、SLが実際に走っているそうなので、今度行くときはぜひ乗りたいなと思いました。



今回の事務所旅行では、スタッフに行き先や工程、宿泊先を決めてもらいました。特に心配することもなく、私は心から楽しむことができました。また、旅行道中も会話の花を咲かせて、いろんな興味も出してきました。来年の旅行はどこへ行こうか。今から楽しみです。





書初めと2019年の抱負



新しい年への期待を込めた文字と、その文字にどんな意味を込めたのかをご紹介します。
まずは、所長とスタッフから！

長田 豊

相續

人から人へ相續されるものの貴重さを表現したもの



長田 雅子

根を張ったり、枝を伸ばすには、幹が必要。走ったり、登ったりするにも、体の軸である体幹が重要。
しっかりと前を向いて、目標を達成するための「幹」を意識して考動しようと、
今年の文字は「幹」にしました。

幹

雅子



遠藤 悦代

寛

「寛大」「寛容」
2019年をゆったり、のびのび過ごしたいと思います。
周囲を軽やかに明るくするよう、筆圧軽く、跳ねるような字体にしてみました。



小向 紗妃

周囲の人からせつかちとよく言われる私。
仕事や目標に対して計画通り行かないと焦ってしまうことが多々あり、柔軟さやその場の対応力が足りないと感じています。
頭を柔らかくし、臨機応変に対応することを心がけて仕事も試験勉強も頑張りたいと思います。

柔

紗妃





そしてインターンシップ生たちです。

成長

彩愛

望月 彩愛

私は「成長」という言葉を選びました。大学卒業をもって長い学生生活が終わり、いよいよ社会人になります。今までよりももっと厳しい事、辛い事が待ち受けていると思いますが、ただそれを「辛い」「大変」と思い過ぎるのではなく、「これは自分をレベルアップさせてくれる」とポジティブにとらえて自らを成長させていきたいと思っています。



福本 雄基

私が「優」という文字を選んだのは、2019年は、優しく優れた人間になろうという目標です。昨年はたくさんの人の優しさと才能に触れる機会が多かったので、今年は自分が周囲に向けて紳士に、かつ譲れないところは結果を出す一年にします。

優

雄基



木下 心路

「波」です。何かというと、私のやる気の波です。(笑) 2018年は波の高低差が激しかったので、それを自覚した上で2019年は波を操れるようになって勉強と休息のバランスをとりたいです。

波

心路



田村 結稀

書初めにこの文字を選んだ理由は自分の名前でもあり良い結びの年になるようにと思いを込めてこの字にしました。来年度で学生生活も終わり次のステップへ良い形で繋がられるように頑張っていきたいです。

結

結稀



森田 彩佳

学

彩佳

来年4月から社会人として働くため、仕事内容含め色々学ぶことになると思うので、教えて頂く事を吸収したり、自分でも必要だと感じたことは自発的に学ぶようにしたいと思い選びました。



長田 雅子

「母からの手作り品」



母は手先が器用で色々なものを作ってくれます。手編みのマフラーやセーター、ビーズで作ったアクセサリー、押し花で作ったなど。プレゼントしてもらおうと、母の気持ちも一緒に届けられているようで、大切に使おうという気持ちになります。またアクセサリーなど使っていると、母から守られているような気持ちになります。心が動かされるプレゼントって素敵ですね。



小向 紗妃 (スタッフ)

「手作りの色紙」



高校生のとき、プレゼントのほかに手作りの色紙を一緒に渡すことが友達の中で流行っていました。私の誕生日の時にはフェルト生地で作った私の顔が貼られているものや、写真がたくさん貼られているもの、イラストをたくさん描いたものなど、いろいろな色紙をいただきました。社会人になった今ではメッセージカードをもらうことはあっても手作りの色紙はもらうことはないの、10年たった

今でも大切に保管してあります。



長田会計事務所の 〇〇なコト 今月のお題： 「もらって嬉しいプレゼント」

木下 心路

(インターンシップ生)



高校の同窓生で今も付き合いのある友達から、私の好きな漫画家の画集をもらったことがあります。その子にとっては全く趣味ではない絵柄なのですが、私とその漫画家のファンであることを覚えていて「せっかくなら好きなもの」「すでに持っていたら困るかな」と本屋で探してくれている姿を想像することができます。

形に残るなら実際に使えるものもいいですが、覚えて選んでくれたという思いやり×実用的なプレゼントはやっぱり嬉しいです。家族からの定番はネットショッピングのギフトカードになりつつありますが…。



田村 結稀

(インターンシップ生)



僕にとってもらってうれしいプレゼントとはCDです。

もともと音楽は幼少期から好きで僕の日常には欠かせないものになっています。その音楽が自分の知らない新たな発見という意味でもプレゼントをしてくれる人が好きなアーティストのCDをもらい、また僕がプレゼントする側になっても同じようにしてともに好きな音楽を共有してどちらも楽しむようにしています。



豊の部屋



書初め中のお父さん。
お父さんの字はいつも達筆です。
最初は半紙の裏側に書いていたおちゃめなところも。

今月のおやつ



山口への社員旅行のお土産です。
ゴルフにみかん味があることに驚きでした。
美味でした。

編集後記

インターンシップ生の木下です。感覚として1年が終わるのが早くなってきた今日この頃です。大学3年生ですが、それも後期という事実にも重みを感じます。時間を大事にしていかなきゃと思いつつ、今回の編集では途中でデータが消えてしまったりと、その日の仕事が無に還ってしまい、修羅場となりました。早く作業ができればタスクあたりのコストが減るのに…なんて考えながらも編集は楽しいです。最後まで読んでいただきありがとうございます。

